

特別シンポジウム SP-1

# 「2050年カーボンニュートラルへの道」

2022年

9月13日(火) 10:10~17:30

参加無料  
要参加登録

信州大学 長野(工学)キャンパス E1棟3階 会議室(EA会場)  
および 化学工学会GOING VIRTUAL(オンライン学会会場)  
[https://goingvirtual.scej.org/web\\_conf](https://goingvirtual.scej.org/web_conf)



主催  
地域連携カーボンニュートラル推進委員会  
戦略推進センター 次世代エネルギー社会検討委員会・  
CCUS 研究会・社会実装学研究会



## 概要

化学工学会では、カーボンニュートラルの達成のために、必要な技術や学問体系の展開・深化の検討と同時に、地域産業および地域コミュニティとの連携強化による具体的なケーススタディを進めております。エネルギーの脱炭素、つまり化石燃料からの脱却を進めなければならないことは間違いありませんが、そのとき、私たちは石油精製からのナフサに代わるカーボンニュートラルな炭素源が必要となります。今回は、カーボンニュートラルな炭素源として、バイオマスに焦点をあて、国内林業との連携、バイオマスを用いた化学品合成技術、日本全体の産業構造の設計について議論いたします。会期前日の9月13日、参加費無料の一般公開シンポジウムとして、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。化学工学が挑む未来社会について多くのみなさまとともに語り合いたいと思います。



## プログラム

10:10 趣旨説明「カーボンニュートラル社会グランドデザイン策定に向けたバイオマス検討」 辻 佳子氏(東大/化学工学会地域連携カーボンニュートラル推進委員会委員長)	14:40 休憩
10:20 「木質バイオマスの利用推進に向けて」 日比野 佑亮氏(林野庁)	15:00 「カーボンニュートラル社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発」 乾 将行氏(RITE)
11:00 「グリーンリファイナリー構想」 水口 能宏氏(日揮)	15:40 「バイオマス—再生可能炭素資源—有効活用に向けた今後の展望」 伏見 千尋氏(農工大)
11:40 休憩	16:20 パネルディスカッション ファシリテーター 辻 佳子氏(東大) パネリスト ご講演者および 中谷 隼氏(東大)
13:20 「ダイセルが志民と創る「愛せる未来」」 玉垣 博章氏(ダイセル)	17:20 閉会の辞 古山 通久氏(信州大)
14:00 「難分解性物質リグニンの炭素循環と炭素固定における役割」 松本 雄二氏(東大)	